

平成 30 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書（案）

区分	指導	題名	水稻品種「金色の風」の収量構成要素等			
[要約] 水稻品種「金色の風」において、倒伏程度を3未満に抑え、整粒歩合を70%以上確保するための稈長は87cm以下である。 収量水準540kgを確保するための㎡当たり籾数は24～27千粒であり、この時の穂数は380～430本、一穂籾数は56～71粒、登熟歩合は88%以上、千粒重は22.7～24.0gである。						
キーワード	金色の風	良食味	収量構成要素	○技術部作物研究室、環境部生産環境研究室		

1 背景とねらい

平成28年度に奨励品種に採用された水稻品種「金色の風」は、栽培マニュアルを基に、平成29年度から作付が開始されているが、より一層の高品質・良食味米の生産が求められている。

そこで、倒伏を抑え、整粒歩合70%以上を確保できる収量構成要素等を明らかにし、栽培マニュアルの充実を図る。

2 成果の内容

(1) 水稻品種「金色の風」を高品質・良食味とするための稈長の上限

倒伏程度を3未満に抑え、整粒歩合70%以上を確保するための、稈長は87cm以下である（図1、2）。

(2) 目安となる収量構成要素等

収量水準540kgを確保するための㎡当たり籾数は24～27千粒であり、この時の収量構成要素等は以下の範囲である（図3～7）。

稈長 (cm)	収量水準 <1.9mm篩> (kg/10a)	㎡籾数 (千粒/㎡)	穂数 (本/㎡)	一穂 籾数 (粒)	登熟歩合 (%)	玄米千粒重 <1.9mm篩> (g)
87以下	540	24～27	380～430	56～71	88%以上	22.7～24.0

3 成果活用上の留意事項

- (1) 本成果をもとに、良食味米の栽培マニュアルを更新予定である。
- (2) 基肥施肥量は、平成28年度研究成果に基づき、窒素成分で6kg/10a以内とすること。
- (3) 追肥の判断は、栄養診断基準に基づき行うこと。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

「金色の風」栽培地帯

(2) 期待する活用効果

「金色の風」の良食味・高品質安定栽培

5 当該事項に係る試験研究課題

- (H27-04) 極良食味新品種の食味・品質の高位平準化に向けた栽培条件の解明
(3000) 極良食味新品種の期待生育量の解明

6 研究担当者

永富巨人、小田島芽里

7 参考資料・文献

- (1) 平成28年度岩手県農業研究センター試験研究成果「水稻新品種「金色の風」の良食味・高品質安定栽培法」
- (2) 平成26年度岩手県農業研究センター試験研究成果「アミロース含有率が低い突然変異系統を活用した極良食味の晩生水稻系統「岩手118号」の育成」
- (3) 稲作指導指針（平成26年3月）
- (4) 高品質・良食味米を安定供給するための水稻品種選定と栽培管理指導の方針（平成30年3月）

8 試験成績の概要 (具体的なデータ)

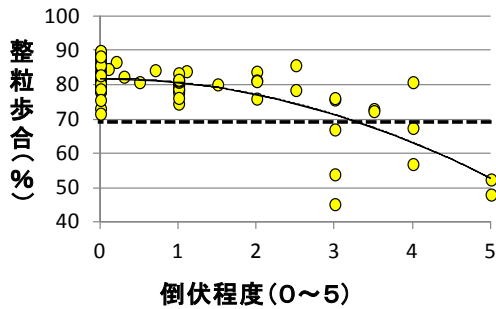


図1 倒伏程度と整粒歩合 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)、整粒歩合はRGQI10B (オク) で測定

倒伏程度が3未満の時、整粒歩合は70%以上を確保できる。

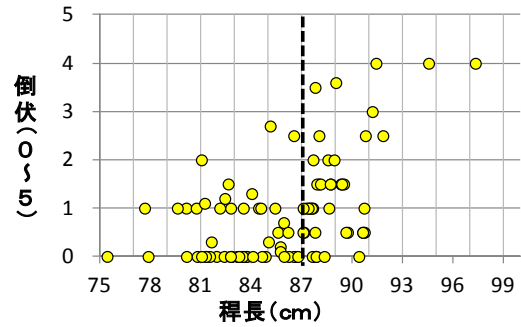


図2 稈長と倒伏程度 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)

稈長が87cm以内であれば、倒伏程度は3未満に収まる。

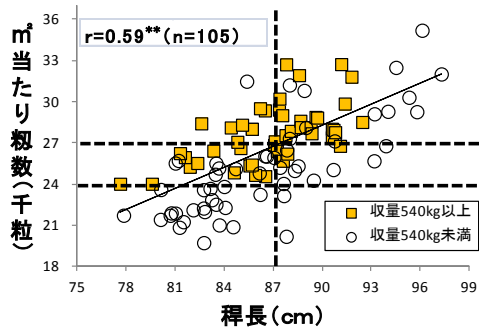


図3 稈長と㎡当たり粒数 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)、** : $p < 0.01$

稈長が87cmの時の㎡当たり粒数は27千粒である。収量540kg/10a以上を確保するための㎡当たり粒数の下限は24千粒である。

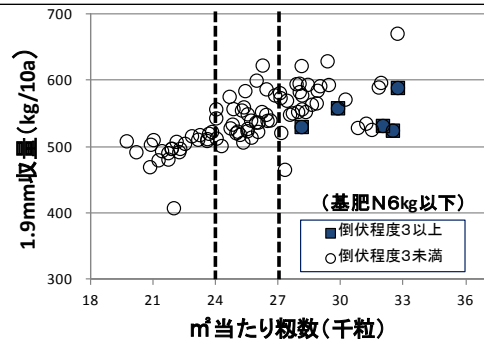


図4 稈長と㎡当たり粒数 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)

栽培法 (平成28年度研究成果) で示す「基肥N6kg以下」の場合、㎡当たり粒数が24~27千粒のとき、倒伏程度は3未満に収まる。

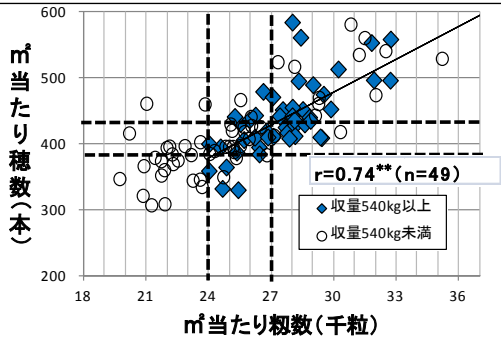


図5 ㎡当たり粒数と㎡当たり穂数 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)、** : $p < 0.01$

㎡当たり粒数が24~27千粒のとき、㎡当たり穂数は380~430本。

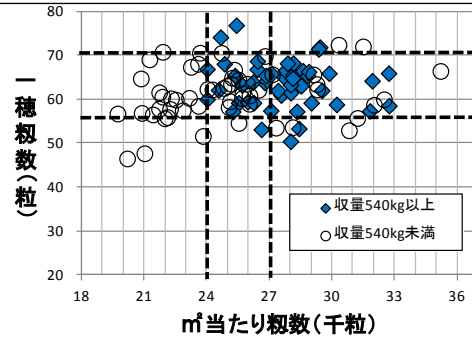


図6 ㎡当たり粒数と一穂粒数 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)

㎡当たり粒数が24~27千粒のとき、一穂粒数は56~71粒。

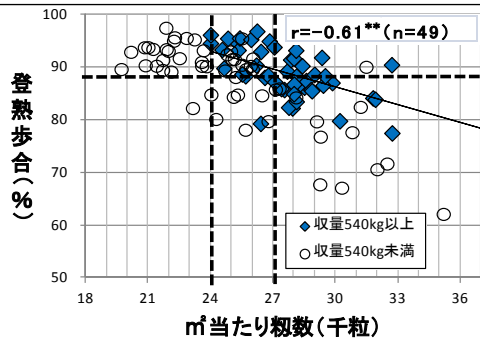


図7 ㎡当たり粒数と登熟歩合 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)、** : $p < 0.01$

㎡当たり粒数が24~27千粒のとき、登熟歩合88%以上。

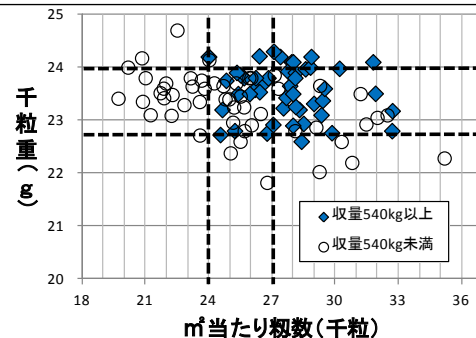


図8 ㎡当たり粒数と千粒重 (H27~30)
注) 農研セ (北上)、現地 (奥州、金ケ崎、一関)

㎡当たり粒数が24~27千粒のとき、千粒重は22.7~24.0g。